

## SOSを出しやすく、またSOSに気づき、受け止めることができる社会の実現に向け、実践と啓発を両輪として推進

いのちの  
大切さの  
啓発

**現状・課題**

- ・自殺は誰もが当事者となり得る重大な問題であるが、山梨いのちの日等の認知度が高い。
- ・県民全員が当事者としての認識を持つよう、命の大切さについて啓発を拡充する必要がある。

<b>山梨いのちの日 自殺対策強化月間 自殺予防週間</b>	<b>広報啓発 304千円</b>	<b>いのちのセーフ ティフォーラム 446千円</b>	<b>いのちを守る ラジオトーク 1,200千円</b>	<b>いのちを守るメ ッセージ動画の放映 (予算なし)</b>
<b>・自殺統計等を分析した本県の自殺の現状について情報提供（予算なし）</b> 県民の自殺対策への理解と関心を深めるため、本県の自殺の現状、自殺の原因・動機等についてHP等で公開。				

→ 「SOSを発信しやすい社会」「県民が身近な人のSOSに気付くことができる社会」へ  
 様々な分野の人が自殺対策の一翼を担っているという意識を共有することで、「生きることの包括的支援」「関連施策との連携」を強化



SOSを  
受け止める  
相談窓口の  
周知等

**現状・課題**

- ・自殺の多くは多様かつ複合的な原因及び背景を有しており、様々な要因が連鎖する中で起きている。
- ・自殺で亡くなった方の3割が、どこにも相談していないという調査結果\*もあり、対策を講じる必要がある。

※「自殺実態白書2013（NPO法人ライフリンク）」

**危機が差し迫った人への周知**

- 新** **いのちを守るSNS広告事業費 1,200千円**  
 ツイッターで自殺願望等を発信した者に対し、相談窓口に誘導する広告を表示。(7月1日開始)
- 新** **いのちを守る検索連動型広告事業費 814千円**  
 インターネットで青木ヶ原樹海と自殺関連用語を組み合わせて検索した者に対し、相談窓口に誘導する広告を表示。(7月1日開始)

**幅広い周知**

- 拡** **相談窓口広報事業費418千円**  
 ゲートキーパー等に向けたリーフレットに悩みごとチェックシート等を追加し、包括的に相談対応できるよう充実。
- 臨** **こころの健康相談統一ダイヤル広報強化事業費3,355千円（6月補正）**  
 こころの健康相談統一ダイヤルをラジオ・新聞で集中的に広報。

→ 「相談先が分からず相談できない」をなくし、「早期に専門分野へつなぐ」を実践



相談体制の  
充実・強化

**現状・課題**

- ・本県では、自殺防止の電話相談（こころの健康相談統一ダイヤル等）が24時間対応していない。
- ・切れ目のない相談体制を確保する必要がある。

- 拡** **こころの健康相談統一ダイヤル事業費 14,649千円**  
 休日、夜間における電話相談ニーズを把握するため、電話相談対応を365日24時間体制に拡充。  
 ※ これまで受け付けていなかった深夜（22:00～9:00）、日曜、年末年始・土曜・祝日の昼間、月曜夜間の相談業務を委託。(7月1日開始)
- 新** **自殺防止センター相談体制強化事業費 535千円（6月補正）**  
 感染症を心配することなく相談を受けられるよう、テレビ電話による相談体制等を整備。(7月15日開始予定)

→ 「相談したいときに、相談できない」をなくす